

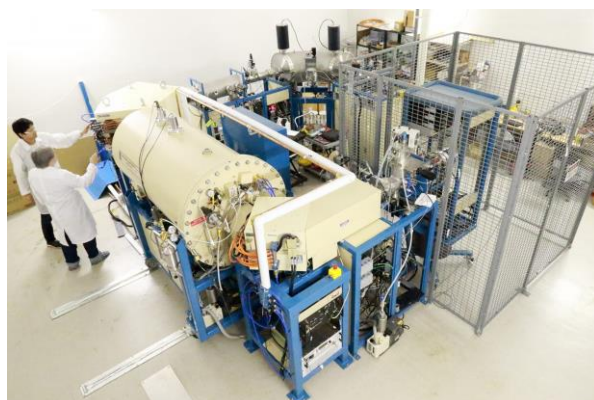
3万点以上の測定実績に基づく適法／違法の客観的証明

「象牙の放射性炭素年代測定」7月1日よりスタート

全形を保持する象牙の登録審査厳格化(環境省)に対応します！



■全形を保持する象牙



■パレオ・ラボの放射性炭素年代測定装置

昭和61年に会社設立、平成4年に岐阜県羽島市に東海支店を開設し、受託分析業を行っている株式会社パレオ・ラボ(代表取締役:中村 賢太郎 なかむら けんたろう)と申します。弊社は遺跡発掘調査や地質調査で採取されたサンプルの年代測定や材質分析などを中心にサービスを提供しています。

この度、今年7月1日から運用が開始された全形を保持する象牙(以下、全形保持象牙)の登録審査厳格化に対応し、全形保持象牙を所有する個人と法人を対象に『象牙の放射性炭素年代測定』のサービスを新たに開始しました。

このサービスの特徴は、象牙取得経緯が適法か違法かの客観的証明です。

象牙の国際取引は、全形保持象牙も加工品も、ワシントン条約により原則禁じられています。

日本国内でも、全形保持象牙の売買や譲渡などが、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(以下、種の保存法)により原則禁じられています。ただし、同法第20条第1項の登録を受けた全形保持象牙は日本国内で売買や譲渡が可能です。全形保持象牙の登録に必要なのは、規制適用日(アフリカゾウ:1990年1月18日、アジアゾウ:1980年11月4日)より前に日本へ輸入したことの証明です。

登録審査を受けるために提出する取得経緯に関する自己申告書の裏付けには、公的機関の発行書類あるいは購入時の領収証が必要とされ、それらが無ければ第三者の証言も認められていました。しかし、全形保持象牙登録の審査が今年7月1日より厳格化され、自己申告書を裏付ける証明が第三者の証言である場合には、第三者の証言を裏付ける客観的証明（放射性炭素年代測定結果など）も必要となりました。放射性炭素年代測定は、象牙の主であるゾウの死亡年を数年の誤差で明らかにすることが可能です。

弊社は、15年以上にわたる3万点以上の測定実績を有する放射性炭素年代測定システムを用いて、信頼性の高い年代測定結果を提供します。

【参考資料】

一般財団法人自然環境研究センター “国際希少種の登録・製品認定”

<http://www.jwrc.or.jp/service/cites/index.htm>

環境省 “象牙等はルールを守って取引しましょう！”

<https://www.env.go.jp/nature/kisho/zougetorihiki.html>

つきましては、ぜひ、貴番組・貴紙にて取材の程、宜しくお願いします。

1. 【顧客ターゲット】「個人（主に40代以上の男女）および法人」

詳細⇒対象は、未登録の全形保持象牙を所有しており、売却や譲渡を予定している全国の個人と法人です。

2. 【コンセプト】 「価値」×「サービス」

詳細⇒全形保持象牙の合法的な売買や譲渡を可能とする登録に必要な年代測定サービスを提供します。

3. 【強み】（WONDER）「自社測定は日本国内で2社のみ」

詳細⇒象牙は検査用の小片ですら無承認での日本国外持ち出しは違法であり、登録審査のための放射性炭素年代測定を行える機関は日本国内に限られます。現在、登録審査のための放射性炭素年代測定に対応し、自社で測定を行っている日本国内の企業は弊社を含め2社のみです。さらに、東海地方に拠点を構える企業はパレオ・ラボのみです。

4.【リリースのポイント3つ】

①高い信頼性のある測定結果

15年以上にわたって、4万年前のナウマンゾウ化石から現代の美術品まで、3万点以上のサンプルを測定してきました。弊社が測定した放射性炭素年代は考古学や地質学など多くの学術論文や調査報告に利用されています。骨や歯の年代測定に関するノウハウも多く蓄積しており、信頼性の高い結果を提供します。また、環境省から測定機関へ向けた留意事項を十分に理解し、ワシントン条約と種の保存法を遵守して業務を行います。

②丁寧なサービス

電話やメールでの事前相談には無料で対応します。ご依頼いただくと、マニュアルを添えたサンプル採取キット（手袋、ヤスリ、サンプル袋など一式）を送付しますので、経験の無い方でもご自身で手軽にサンプル採取を行えます。もしも、ご自身でのサンプル採取が困難な場合には、弊社スタッフによる出張サンプル採取も可能です。採取後のサンプルを弊社へ返送していただくと、1～2ヶ月で年代測定結果報告書を提出します。報告書は、登録審査に必要な内容を十分に含みつつ、簡潔な内容に仕上げます。

③適正な費用

象牙の内側（髄腔面）1カ所からサンプル採取する簡易測定は税別8万円です。象牙の内側と外側の2カ所からサンプルを採取する高精度測定は税別15万円です。事前の打ち合わせで象牙の状態をうかがった上で、より費用対効果の高い測定方法をおすすめします。（※なお、年代測定作業の途中で、象牙ではない、あるいは状態が悪く測定試料として不適切であることが判明した場合には、途中まで実施した作業相当分の費用しかいただきません。）

5.【サービスの意義】

絶滅のおそれがあるゾウを保護するためには、ゾウの密漁や象牙の違法取引を徹底的に排除する必要があります。日本国内での象牙取引が継続されるためには、象牙が厳格に管理され適正に取引されていると国際的に認められる制度の運用が必要です。放射性炭素年代測定による客観的証明は、日本国内の象牙市場から違法な象牙を締め出すための力強い手段となるはずで

<以下、参考資料>

■会社概要

- 設立：1986年10月2日
- 拠点：本社（埼玉県戸田市）
東海支店（岐阜県羽島市）、
AMS年代測定施設（群馬県桐生市）
大阪営業所（大阪府吹田市）
- スタッフの専門分野：地質学、地理学、考古学、文化財科学、化学、物理学、
工学、花粉学など
- 資本金：7400万円



■代表者の経歴

中村 賢太郎

- 現在 岐阜県羽島市在住
- 2014年4月 （株）パレオ・ラボ代表取締役 就任
- 2004年4月 （株）パレオ・ラボ入社
- 2004年3月 東京都立大学大学院 修士課程（史学）修了
- 1979年2月 神奈川県横須賀市生まれ

■サービス概要

サービス名	象牙の放射性炭素年代測定
特徴	象牙取得経緯が適法か違法かの客観的証明
サービス開始日	2019年7月1日
販売先	未登録の全形保持象牙を所有する個人と法人
販売価格	簡易測定：¥80,000（税別） 高精度測定：¥150,000（税別）

<資料に関してのお問合せ先>

株式会社パレオ・ラボ 広報担当：中村 賢太郎（なかむら けんたろう）
電話：058-391-0881（携帯：090-7433-8843）FAX：058-391-8129
E-Mail：info@paleolabo.jp
HPアドレス：https://www.paleolabo.jp/
住所：〒501-6264 岐阜県羽島市小熊町島5-63 アルビアル羽島1F